

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	緊急通報システム事業			事業番号	011-055
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連 寄与するKPI	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備		
		有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連 寄与するKPI	有・無	ゴール	—	目標値	—
			無	取組	—		
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市高齢者緊急通報システム事業実施要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市の区域内に住所を有しており、①おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方、②昼間または夜間に独居となるおおむね65歳以上の病弱等の高齢者	対象数	単位	
			約232,000	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	急病、事故等の緊急事態への迅速な対応によって、高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支える。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	【事業内容】 高齢者等宅への緊急通報装置の設置（申請に応じ通年）。 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【実施方法】 緊急ボタンを押下した利用者への対応（消防局、委託業者） 相談ボタンを押下した利用者への対応（委託業者）			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪ガスセキュリティサービス株式会社			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度
	相談通報件数	件	目標値	—	—	—	—
			実績値	3,494	3,093		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	利用者からの相談通報件数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまない。利用状況の把握のため、相談通報件数を実績値としている。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	設置件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	4,521	4,509		
			達成率	-	-		
	当該指標を選定した理由	装置の設置件数を指標に選定することで、事業実績を把握できるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまない。利用状況の把握のため、設置件数を実績値としている。（R5.3末現在設置件数）。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	緊急通報システム事業	事業番号	011-055
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	59,623	68,901	60,942	60,262	64,729
13財源内訳					
国支出金	13,949	13,916	14,165	13,967	14,416
府支出金	6,974	6,958	7,082	6,983	7,208
市債			0	0	0
その他 (第1号被保険者保険料)	8,333	8,314	8,462	8,344	8,612
受益者負担金(使用料、手数料等)	952	955	1,008	1,147	922
一般財源	29,415	38,758	30,225	29,821	33,571
14人件費 (b)	3,160	3,160	3,180	3,180	3,150
15年間経費(c)=(a)+(b)	62,783	72,061	64,122	63,442	67,879

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16事業費内訳	緊急通報システム業務		R4 決算 45,768	15,373		R4	決算	
			R5 予算 48,214	17,192		R5	予算	
	その他備品購入費		R4 決算 14,437	14,437		R4	決算	
			R5 予算 16,347	16,347		R5	予算	
	通信運搬費		R4 決算 57	11		R4	決算	
			R5 予算 168	32		R5	予算	
消耗品費		R4 決算 0	0		R4	決算		
		R5 予算 0	0		R5	予算		
		R4 決算			R4	決算		
		R5 予算			R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 設置件数	件	4,521	4,509
② 上記①にかかる年間経費	千円	72,061	63,442
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,939	14,070
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は3,093件の相談を受け、新たに472件の装置を設置した (R5.3月末現在の設置延件数は4,509件)。 ・装置の設置完了時に、以下のとおり自己負担金を徴収。 ①所得税非課税世帯：無料 ②課税世帯：8,400円 ※ただし、事業の対象者 (項目6) ②に該当する方は、上記①②に加えて32,000円を徴収。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>一人暮らしの高齢者宅等に緊急通報装置を設置することにより、急病等の緊急時に消防局の119番に直通で入電できるため、迅速に対応することが可能となっている。また、相談ボタンを押すと委託会社のナースコールセンターに繋がり、看護師や保健師等に健康面の相談をすることができるため、高齢者の健康面等の不安を解消し、在宅生活を支えることにつながっている。このことから、本事業は、基本計画の取組の方向性である、「高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備」に合致している。</p>
----	---